

よこすか育成通信

題字：横須賀市長 吉田 雄人

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会

ガンバってます!! 非行防止キャンペーン

☆7月2日(土) 中央駅周辺

常葉・不入斗・大津中学校区

スカリンと一緒に暑い中頑張りました。「非行防止キャンペーンを行っています」と道行く人に声かけをしました。

スカリンになりきった不入斗中の生徒は「普段声をかけてもらえない人からも声がかかりとても楽しかった」と汗びっしょりでも、にこにこしていました。大津中、常葉中の生徒も「いつもは声をかけにくい方にも声をかけることができとてもよかった」と満足げに話していました。

中学生の活躍で、1時間弱で終わりましたが、もう少し積極的にチラシを受け取ってもらえると暑さも吹き飛んだことでしょうか。恒例のキャンペーンで、より多くの人たちが非行防止に関心をもってもらえたらと思います。(栗原 恵子)



☆7月23日(土) 追浜駅周辺

鷹取・追浜中学校区

「非行防止キャンペーンを行っています。ご協力をお願いします。」

中学生・高校生と学校長・先生・地域連絡会会員・市議会議員、汐入のあと駆けつけてくれた吉田市長他総勢48名が参加。駅前デッキ・16号交差点・スーパー前広場に分かれて、のぼり旗が風に倒されないように持ちながら、風船とチラシ・ティッシュを配りました。

スカリンはとても人気があり、小さな子どもたちも寄ってきて、あっという間に配布が終わりました。

横須賀スタジアム帰りの中学生も、風船やティッシュを快く受けとってくれたので、配る中学生の声もだんだん大きくなり、お互いの距離が近くなったように思えました。

(萩原 康子)

☆7月23日(土) 汐入駅周辺

坂本中学校区

多くの方々に協力をいただき、昨年を上回る23名の坂本中の生徒と、各学校長・先生並びに坂本中学校区地域連絡会育成関係者の、総勢66名が参加しました。

16時から参加者の紹介と、連絡協議会会長、吉田市長、地域連絡会会長の順にあいさつの後、汐入駅周辺の3ヶ所に分かれて、キャンペーンを展開しました。



暑いなか中学生は、呼びかけとチラシ・ティッシュを配り、ショッピングで行きかう人たちに笑顔で接していました。閉会には、市議会議長から労いの挨拶があり、実りあるキャンペーンができました。(浜口 達郎)



☆岩戸の七夕祭り

岩戸中学校区

岩戸中学校区の恒例の七夕飾りづくりはいつも盛況です。子どもたち総勢150名、保護者合わせて220名と大集団です。

7月3日は突き抜けるような晴天の下で市立養護学校の校庭を借りての作業です。岩戸町内の子ども会の児童と未就学児も一緒に七夕飾りづくりです。

七夕飾りは200本、朝の10時からお昼にかけて飾りを作ります。キラ星、吹き流し、提灯飾り、折り鶴など折り紙から作り、これをこよりでつるします。仕上げは短冊に願いを込めて。

今年は晴天の7月7日、織り姫とひこ星はきっと再会を果たせたことでしょう。

(澤谷 清)



☆はじめての取りくみ

鷹取中学校区

7月8日(金)、中学生と地域の大人がコミュニケーションをとり、お互いが顔見知りになることをねらいのひとつとして、はじめての試みの「地域連携Day」がスタートしました。

鷹取中学校で北消防署の「大震災が起きた時に中学生として地域の力になれること」の講演の後に、消火訓練・煙体験・バケツリレー、毛布と物干し竿を使った担架での運搬方法等の体験をしました。

その後、中学生は各自治会に分かれて、防犯カメラの設置場所での機能説明や、貯水槽・防災倉庫の場所の確認や資機材の使い方の指導を受け、実際に発電機の操作やリヤカーの組み立て、物資や高齢者の搬送訓練も行いました。

また、各自治会が工夫をこらした訓練として、小枝を使って火をおこして湯を沸かし、無洗米をビニール袋に入れてごはん作りをし、レトルトカレー、五目ごはん、おかゆ、豚汁や塩むすび、お弁当などの食事をしました。

災害想定事案を作り、ビニール袋の水タンク、ペットボトルのシャワー、基本のロープ結びの訓練を体験しました。

中学生158名、地域78名、引率の先生16名。学校長を始め、先生方の協力のもと地域の大人と中学生による「地域連携Day」は大成功に終わりました。(萩原 康子)



☆熱い地域密着型「サマーコンサート」開催!

北下浦・長沢中学校区

第13回サマーコンサートが、8月23日(火)午後1時~3時30分、北下浦行政センター集会室で盛大に行われました。

このコンサートは、地域の諸団体(北下浦・長沢中学校区育成活動地域連絡会、長沢・グリーンハイツ青少年活動推進の会等5団体)の協力で毎年行われ、地域の楽しみの行事になっています。

地元の北下浦中学校の音楽部、長沢中学校の吹奏楽部とダンス部、津久井浜高校の吹奏楽部の総勢102名の熱演に、会場を埋めた観客は大いに盛り上がり、熱きコンサートになりました。

今年は、東日本大震災があり、「がんばろう日本」のメッセージのパフォーマンスがあったり、「上を向いて歩こう」の大合唱があったり、復興を願う子どもたちのエネルギーを感じさせる特別なコンサートになりました。

また、長い間なじみの薄かった北下浦音頭(長沢中学校古内先生編曲)の演奏も披露されました。

今回のサマーコンサートの模様は、8月27日(土)午後9時、ジェイコム(11ch)でTV放映されました。(柳浦 邦次)



☆夏休みパトロール研修会

7月30日(土) 総合福祉会館

育成推進員の資質向上の一環として、青少年にとって望ましい環境づくりを進めるため、横須賀警察署生活安全課少年係の笠倉さんを講師にむかえパトロールのスキルアップをはかる研修をしました。

「近頃の子どもたちについてどう思いますか?」という講師からの問いかけに対して、推進員から「髪色もいろいろ、化粧が濃い、スカートの丈が短い、校則が甘い、親に怒られたことがないのか悪いことに対して意識が低い」等の発言がありました。パトロールは無理をしないで、1人ではなく地域の人たちと協力しあって行うことが望ましいと思われました。



続いて、最近の非行実態の説明があり、低年齢化し悪質かつ巧妙化の傾向にあるとのこと。非行犯罪のワースト3(県内)は、1位万引き、2位自転車盗、3位占有離脱物横領であり、万引きの内訳としては、化粧品(女子中高生)、文具(高価なものを大量に盗む傾向)、バイクの部品等が挙げられました。

これらの実態を考えると子どもたちをやさしく見守ってあげること、周りを見ぬふりをしないで、過ちを起こさないよう声をかけて

いくことが大切であると出席者の推進員は痛感したことでしよう。(小川 輝夫)

☆パネル展示で啓発活動

環境研究部会

毎年7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に合わせて、横須賀市役所北口側掲示板(1階)に非行防止のパネルを展示して啓発活動を行っています。

また、11月には「子ども・若者育成支援強調月間」として、健全育成に関するパネル展示を行っています。

いずれも5日間と期間は短いのですが、横須賀市役所を訪れる多くの方々の目に触れることが、青少年が非行に走らず、健全に育つ環境づくりを進めるきっかけになればと考えています。

結果はすぐには出ませんが、地道な活動を一步ずつ進めることで、地域の大人の方にも理解していただく事ができればと思っています。

まだ一度も見られていない方は、是非横須賀市役所を訪れてご覧になっていただき、ご意見等をいただければ幸いです。

(織田 俊美)



インフォメーション

*非行防止キャンペーン
11・12月に8ヶ所の駅周辺と地域で行われます。

*パネル展示で啓発
11月は「子ども・若者育成支援強調月間」です。

11月14日(月)~
18日(金)
横須賀市役所北口側掲示板(1階)に展示。

*第6回中学校区対抗
ウォークラリー大会

武士(もののふ)の里探訪~三浦一族の足跡を歩く~

12月11日(日)
大矢部中学校周辺にて



わんぱくフェスティバル 2011

入場 無料

10月23日(日)
10:00~15:00
県立保健福祉大学

屋内では...
●子どもたちのステージ発表
●中学校吹奏楽
●青少年団体コーナ
●おもちの振舞(おもちの振舞は無料です) など

屋外では...
●マジックショー
●メイプルダンス
●中南米音楽ライブ
●模擬店コーナー など

★ご不用になった楽器(鍵盤ハーモニカ、トランプリアコーダー、鼓、カスネット)に頼るをお持ちください。
カンボジアの子どもたちに送ります。
★来場者用駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
★関係者以外の撮影はご遠慮ください。
★ゴミのお持ち帰りにご協力ください。

お問い合わせ:
実行委員長 芦澤 090-4835-8745

◆主催: わんぱくフェスティバル2011実行委員会 ◆後援: 横須賀市/横須賀市教育委員会/横須賀商工会議所

☆「全体研修会」

4月17日（日）総合福祉会館

県の青少年保護育成条例が4月から改正されたことに伴い、今回の研修を開催しました。

この条例改正を担当した、県青少年課川島剛副主幹による説明と質疑です。「この条例の存在を知っている方」との問いかけに多くの手があがりましたが、過去の調査では、知っている親は4割程度だったとのこと。この点を反省し、県が出向いて意見を聞き数年かけてこの度の改正に至ったとのこと。

この改正では、近年の社会環境に対応し、「社会全体で青少年の健全育成に取り組む」ための基本理念と関係者の責務が明確になっています。主なポイントは、

- ①条例の対象に、乳幼児を加える。
- ②携帯電話のフィルタリングの義務化。
- ③親がインターネット利用に注意を払う。
- ④保護者同伴でも深夜外出を制限する。
- ⑤個室営業施設を指定。青少年入室禁止。
- ⑥青少年指導員を条例で位置づけ、条例違反発見時、知事に調査要請できる。

討議では、推進員ならではの具体例が7件提起され、条例担当者との議論をとおして、より理解が深まりました。推進員が条例で明記されたことでもあり、より一層青少年の健全育成に努めたいと思います。（田辺 宏）



☆「県横須賀三浦地域指導員研究会」

6月25日（土）県横須賀三浦地域合同庁舎

この研修会のテーマは「アドベンチャー教育手法を活かしたコミュニケーションスキル」です。

アドベンチャー教育手法とは、仲間と協力するすばらしさを体験できる活動プログラムです。様々なチャレンジ活動の中で心の動きを振り返りながら、「人を信頼する心」「達成感」「自他共によりよくあろうとする心」などを体験し学び取ります。この手法はゲームを通じて体験し、我々の今後の活動に役立てていくことが目的でした。

最初は戸惑い、他人行儀だった参加者も、約100種類あるゲームの中から、3時間で16種類のゲームを体験し、終始ニコニコ笑顔の研修会になりました。

今回の研修では、参加者が自分のポケットに入れて持ち帰るものがとても多かったと思います。そして、それを少しずつポケットから取り出してこれからの活動に役立てていけたらと思います。（牛越 竜夫）



♪ ゆうやけこやけ ♪

私の町内では、盆踊りと隔年で行われている祭礼の宵宮に、映画を上映しています。

今年の上映担当を勤めた私は、小さい子どもが走り回ることを見越してスクリーンを配置したり、配線をゴザで覆ったりして準備しました。

ところがどっこい彼らは、こちらの意図をあざ笑うかのようにセキュリティの弱点を突いてきます。そこで早速、横三研修会で覚えた命令ゲームを開始。

『ロボットさん、ロボットさん・・・』と命令するとちびっ子たちは、すぐに可愛いロボットさんに変身してくれました。

久しぶりに子どもたちと楽しい時間をすごせた今年の祭礼でした。（M. K.）

編集後記：

編集会議の中で、どのようにしたら目に留まるのか、読んでいただけるのかが話題になりました。一生懸命記事を書き、レイアウトや校正に時間をかけ育成通信11号を作り上げました。青少年育成推進員の活動を、今後ともより多くの方に、ご理解とご協力をいただきながら、お知らせしていきたいと思っています。（松元 陽子）

「よこすか育成通信」第11号
発行／横須賀市青少年育成推進員連絡協議会
会長 安藤 隆正
〒238-8550 横須賀市小川町11番地
横須賀市役所こども育成部
こども青少年企画課内
TEL 046-822-8223
http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3405/g_info/1100050659.html